

ハラスメント実態調査結果【藤沢市議会議員】

【調査概要】

令和7年4月1日に施行した「藤沢市議会ハラスメントの防止に関する条例」及び「藤沢市議会ハラスメントの防止に関する要綱」に基づき、議員が議員又は市管理職職員に対して行ったハラスメントの実態を把握するため、調査を行うもの。

1 実施期間

令和8年1月19日（月）～令和8年1月23日（金）

2 対象者

市議会議員

3 方法

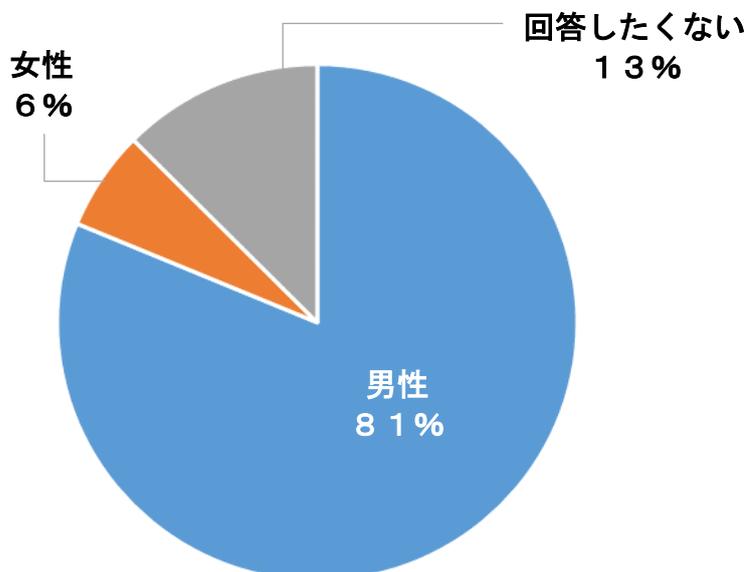
電子申請システムのアンケートにて匿名回答

4 回答数／対象者

16人／36人

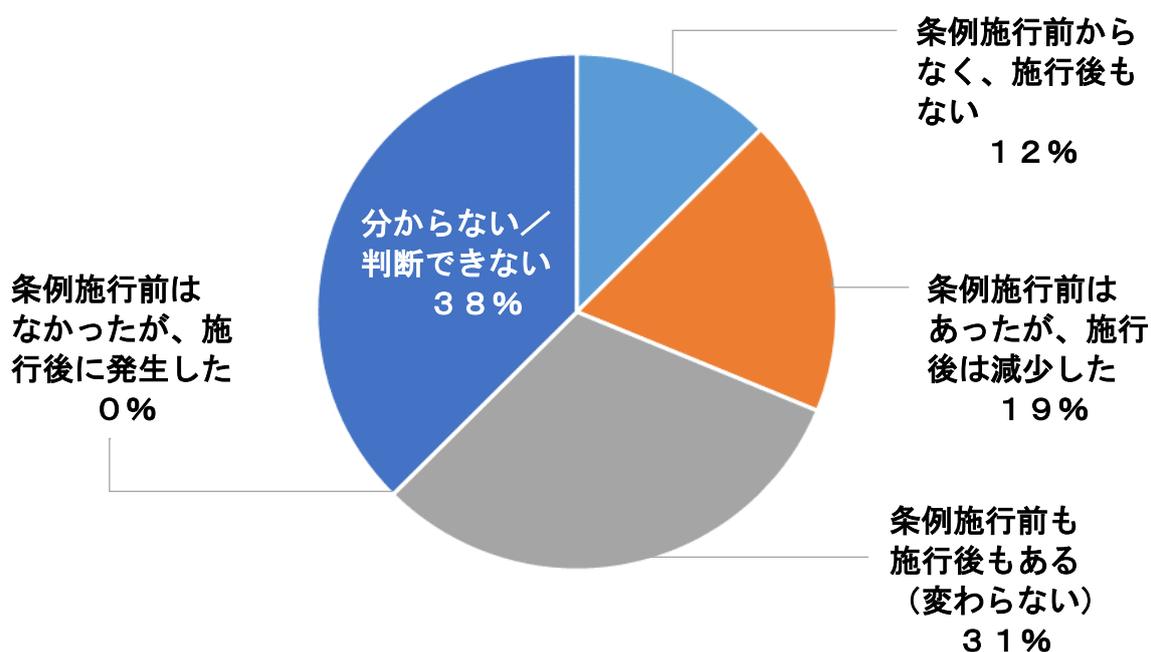
質問1 あなたの性別を教えてください。

男性	女性	回答したくない	合計(人)
13	1	2	16



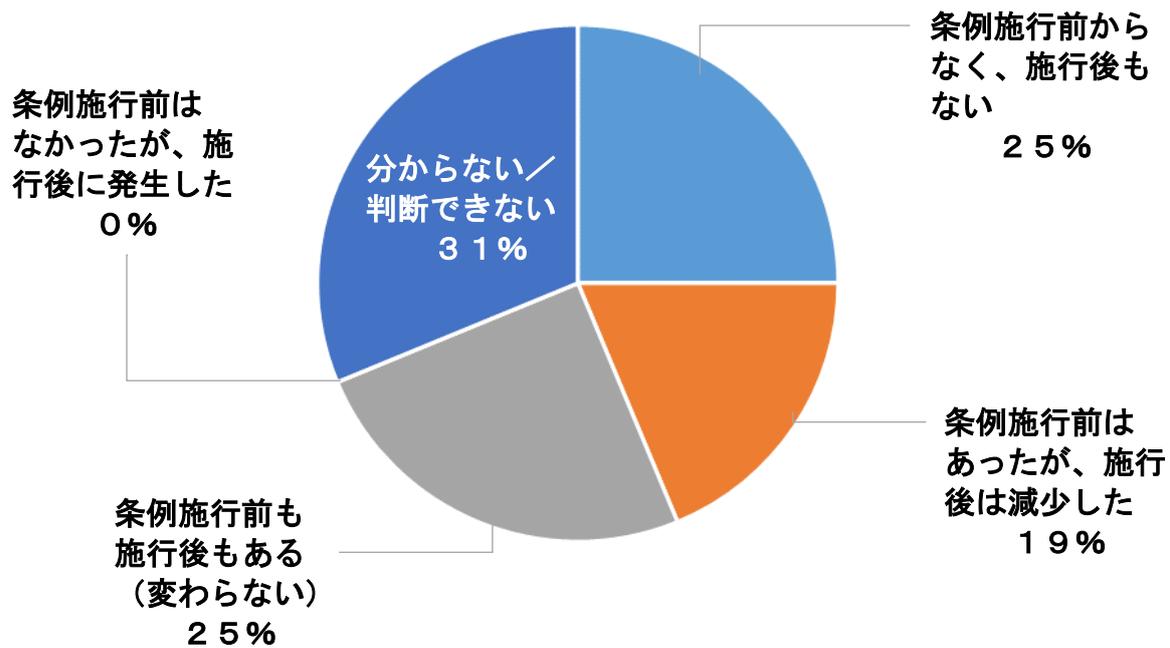
質問2 「藤沢市議会ハラスメントの防止に関する条例」が施行されたことにより、議員から職員へのハラスメントの状況（見聞きした）について、最も近いものを選んでください。

条例施行前からなく、施行後もない	条例施行前はあったが、施行後は減少した	条例施行前も施行後もある（変わらない）	条例施行前はなかったが、施行後に発生した	分からない／判断できない	合計（人）
2	3	5	0	6	16



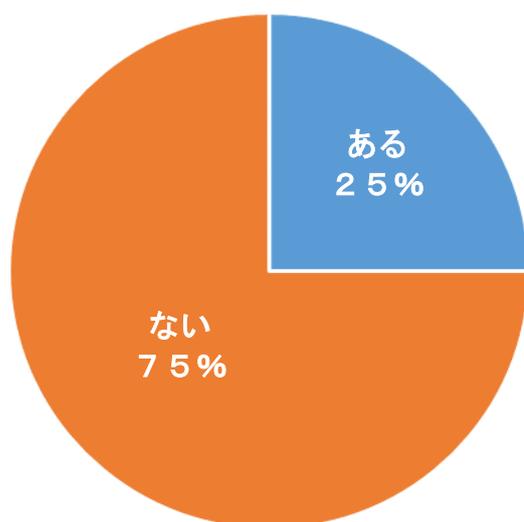
質問3 「藤沢市議会ハラスメントの防止に関する条例」が施行されたことにより、議員から議員へのハラスメントの状況（自分が受けたまたは見聞きした）について、最も近いものを選んでください。

条例施行前からなく、施行後もない	条例施行前はあったが、施行後は減少した	条例施行前も施行後もある（変わらない）	条例施行前はなかったが、施行後に発生した	分からない／判断できない	合計（人）
4	3	4	0	5	16



質問4 あなたは議員からハラスメントを受けたことがありますか。

ある	ない	合計 (人)
4	12	16

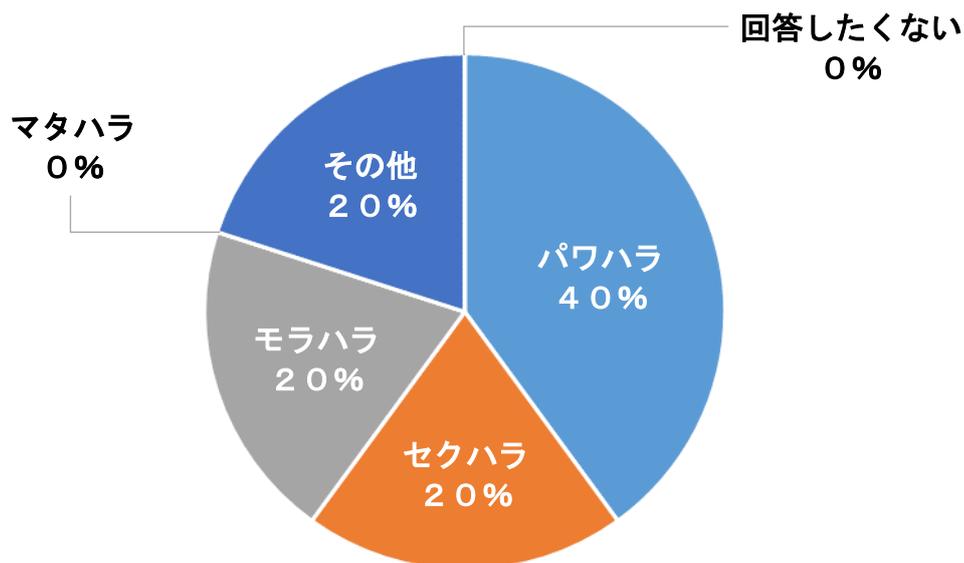


質問5 ハラスメントを受けたことが「ある」と回答した方に伺います。

どのようなハラスメントを受けましたか。(複数回答可)

パワハラ	セクハラ	モラハラ	マタハラ	その他	回答したくない	合計(人)
2	1	1	0	1	0	5

※複数回答のため、回答者数とは一致しません。



質問6 質問5で回答された方に伺います。

それは、具体的にどのような行為でしたか。(記述)

回答3件

【精神的な攻撃】 2件

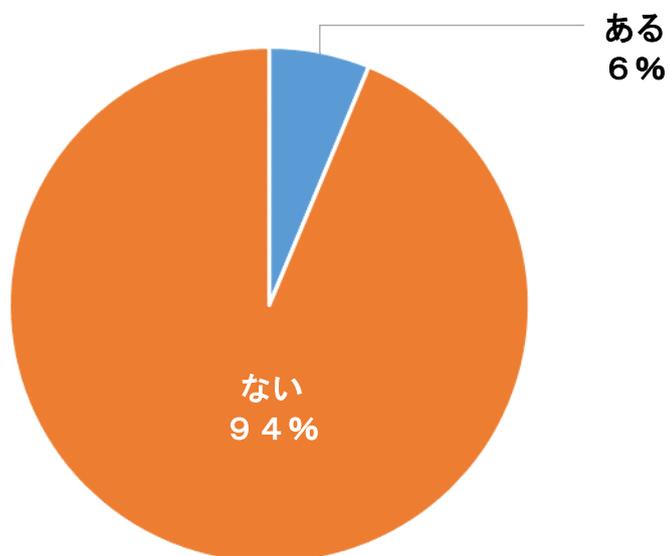
強い口調、攻撃的な言葉で叱責、不快な身体的接触

【長時間拘束】 1件

拘束された

質問7 あなたは職員からハラスメントを受けたことがありますか。

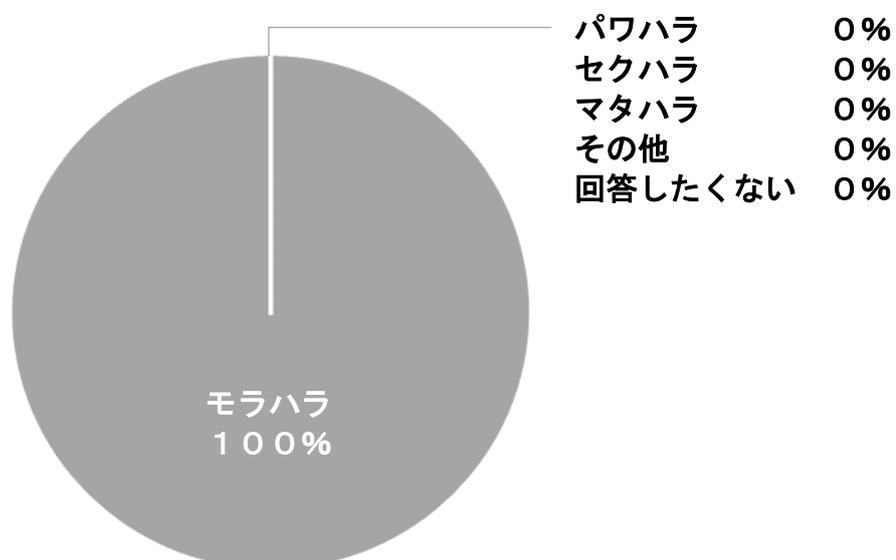
ある	ない	合計 (人)
1	15	16



質問8 ハラスメントを受けたことが「ある」と回答した方に伺います。

どのようなハラスメントを受けましたか。(複数回答可)

パワハラ	セクハラ	モラハラ	マタハラ	その他	回答したくない	合計 (人)
0	0	1	0	0	0	1



質問9 問8で回答された方に伺います。それは、具体的にどのような行為でしたか。

(記述)

回答1件

【威圧】 1件

質問10 ハラスメント防止のために望むことは何ですか。(記述)

回答9件

- 人権意識やアンコンシャスバイアスについて意識的に学ぶ。議員という社会的立場や自ずと現れる権力勾配を常に意識する。そういった研修を繰り返す。相談しやすい・話しやすい窓口の設置。
- 常にアンケート等の手法で実態調査を行い、それに併せて条例を改正させていくことを続けるべき。
- 議員がそれぞれハラスメントにならないか？相手に不快感を与えることがないか？を常に意識をして行動しなければならない。
- 相談体制の強化
- 職員から議員に対するハラスメントが起こる可能性がないとはいえないのに、条例では対象外なので公平性にかけます。
- 継続的な研修、議員のあり方の本質的な論議
- 自分の知る範囲では見聞きしないので特になし。
- 議員が職員を呼び捨てで呼ぶのはやめましょう
- ハラスメント事項の理解。決まった価値観を押し付けないこと。

質問 1 1 最後に、「ハラスメント」について、お考えがあれば自由にご記入ください。

(記述)

回答数 5 件

- 「今は何を言ってもハラスメントだ。窮屈だ。」という風潮があるが、それは今まで誰かの尊厳を無視して来た側の見方で、これからも無視したい・踏みつけておきたい・配慮する手間を取りたくないという自身の人権感覚の鈍さを露呈するものだというのを知ってほしい。そういうことを知る趣旨の研修などがあったら、良いなと思う。
- なんでもハラスメント化させる前に、各々が社会人として当然の言葉遣い、対応等を学ぶこと。ハラスメントについて勉強し、相手の立場を慮り、常に自分が相手の立場だったらと考えて行動すべき。客観的な視点を持つことが、ハラスメント抑止の最大の手法。
- 過去に侮辱的暴言を吐かれたことがある。加害者は今もって無自覚であり、今後もやり続けるだろう。委員会視察や団体行動を求められる際、加害者と同じ場にいなければならぬ場面もあり、心の負担となる。距離を置く工夫は常にしているが、難しい場面もある。効果的な解決策は、今見出せていないが、こうした状況があることを皆様と共有させて頂きたい。
- 特になし
- アリバイ作りのような研修は無意味

以 上